

株式会社 大平興業舎



COMPANY DATA

業種 運輸業
事業内容 運送業・倉庫業
創業 1967年4月
代表者 代表取締役会長 上原 正到
所在地 神奈川県川崎市幸区下平間 23
従業員数 38名

企業紹介

設立以来、重量物・精密機器等のあらゆる製品の輸送はもちろん、保管・荷造作業まで一貫したサービスを提供している。ステアリング付きのトレーラーを多数保有しており、荷物に合わせた車両の提供、最適な輸送プランの提案など、お客様のニーズに沿った対応を得意とする。また京浜地区に広大なスペースの倉庫を運営・管理。大手建設機械メーカーや電機機器メーカーを中心に、様々な企業を運送と倉庫の面から支えている。



▲大型ディスプレイは、ドライバーが確認しやすいよう、拠点となる事務所の上部に設置された。



▲輸送に便利な京浜地区で約100,000坪の広大な倉庫を管理。



▲全国の変電所や発電所への輸送はトレーラーが主に活躍。

配車情報の伝達をスムーズにすることで ドライバーが働きやすい環境を整備

- ①配車情報を大型ディスプレイに自動表示
- ②車検期日情報を色分けで「見える化」
- ③管理者が外出中でも配車情報をリアルタイムに更新
- ④大型ディスプレイを輸送シミュレーションに活用

1 経営課題

Task

大平興業舎ではトラック 20 台、トレーラー 70 台あわせて 90 台の運送用車両を有しており、14 名のドライバーにどう配車するかを管理者がエクセルで管理し、当日の配車スケジュールをホワイトボードに書き写していました。しかし手書きのため転記ミスが生じやすいこと、また天候やお客様の都合で配車に変更があったときに書き直さなくてはならないこと、使用可能な「空車」が分かりづらいことなど、車両情報の伝達に問題点を抱えていました。

2 取組概要

Approach

そうした問題を解決するため、川崎市の補助を活用し、「ドライバーの業務内容」「期間」「使用車両」「空車情報」「車検情報」のみを抽出して大型ディスプレイに表示するシステムを開発。当初はエクセル画面をそのまま映すことも検討しましたが不要な情報が多く見えづらいという意見と「車検情報」は「長期間車両が使えなくなる車検期日を一目で分かるようにしたい」との声を反映し、車検の有効期日が色で確認できるようになっています。

3 実施効果

Effect

システムの導入により書き写す手間が無くなったため、月 15 時間の労働時間削減につながりました。書き写しミスが無くなり、ドライバーに正確な情報を伝達できる点もメリットです。また配車に変更が生じた際、管理者が外出中でも、タブレットを通じて最新の情報をリアルタイムで表示し、ドライバーにいち早く変更事項を伝達。さらに導入した大型ディスプレイは最適な輸送経路シミュレーションを行う場面でも役立っています。

- 成果 1 配車表示システムの導入により
月15時間労働時間を短縮
- 成果 2 外出時のタブレット活用で
情報の伝達スピードを向上
- 成果 3 ディスプレイ表示による「見える化」で
車両管理を効率化

成功要因

- 必要な情報を現場の声から拾い上げ、システムに反映させたこと
- 従来の関係性にとらわれず、よりマッチしたITベンダーを見つけること

経営者 INTERVIEW



運用手順を変えないことで社内への浸透をスムーズに「ディスプレイにどういう情報を表示すべきか」などについて、**管理者やドライバーにヒアリングを行ったうえでシステム導入を進めたことが配車管理の効率化につながった**要因だと考えています。新しいシステムを導入するときは、ついさまざまな情報を盛り込もうとしてしまいがちですが、現場で活用されるシステムにするためには、**運用手順をできるだけ変えないことや、あえて情報を削ぎ落してシンプルにすることが重要**だと思います。またシステムの開発は当初、以前からお付き合いのあったITベンダーに依頼していましたが、プロジェクトがうまく進捗せず、別の会社に切り替えたという経緯がありました。**どんな会社にも得手不得手があると理解し、早めに切り替える判断をした**ことも今回、功を奏しました。今後も多様化・高度化する物流業界のニーズに合わせて、社内体制の改革や情報のIT化など柔軟に対応していこうと思います。

取締役社長 岡崎 孝行

社員の声

- ドライバーにとって配車表は、自身のスケジュールを把握するための唯一の情報源で、とても重要なもの。システム化により見やすく、分かりやすくなったとみんなが喜んでます。
- 管理者が外出中でも配車表が更新されるため、最新の情報がリアルタイムで確認できるので助かっています。
- 導入したことで大型ディスプレイの汎用性の高さに気づきました。現在は現場の下見動画の確認に使用していますが、今後は危険予知動画を映すなど社員教育での活用を考えています。



今後の展開

- 特殊車両通行許可申請書のデータ管理
- ドライバー点呼のシステム化
- 大型ディスプレイを社員教育に活用

